

公正、透明、健全な事業活動

基本的な考え方

さまざまなステークホルダーに信頼されるためには、公正、透明、健全な事業活動の実施が大切です。健全な企業経営と、外部による公正な事業評価、そして情報の積極的な公開により、十分に理解・納得していただくうえで事業を進めます。

1 低利かつ安定的な資金調達

投資家や金融機関の皆さまと積極的に対話し、道路建設資金の安定的な調達に努めています

高速道路事業は、建設から管理まで長期にわたる事業となるため、社債の発行や民間金融機関からの借入にあたっては、低利かつ安定的な資金調達が不可欠です。このため、社債と民間借入のバランスに留意するとともに事業説明会や個別訪問などのIR活動を継続的に実施し、投資家や金融機関の皆さまへNEXCO西日本に対する理解を深めていただくよう、努めています。

資金調達の推移 (単位: 億円)



2 投資家・金融機関の皆さまとのコミュニケーション

事業説明会を毎年開催し、わかりやすく丁寧な情報提供を心がけています

当社では、毎年7月頃に、東京で事業説明会を開催し、投資家や金融機関の皆さまにご出席いただいています。



2013年7月19日の事業説明会

2013年度開催の事業説明会では、企業情報や決算情報に加え、皆さまの関心が高かった高速道路の老朽化について取り上げ、その状況と対応方針を丁寧にご説明し、当社の事業に対する理解を深めていただくよう努めました。また、質疑応答などを通じて、経営層と直接、対話いただく機会とすることで、双方向コミュニケーションの場としても活用いただいています。

投資家・金融機関の皆さまへの個別訪問を実施し、タイムリーな情報提供を心がけています

年度計画公表時や決算発表時など、時機をとらえて、投資家や金融機関の皆さまが多い東京を中心に、全国各地を個別訪問し、タイムリーな情報提供に努めています。今後も、当社の事業に対するよりいっそうの理解促進を図るべく、積極的な情報提供に努めていきます。

社員コメント

NEXCO西日本

投資家・金融機関の皆さまとの良好な関係を構築することで安定的な調達につながります



財務部 財務課 兼 東京事務所 総務企画課 金井 朋樹

高速道路事業は、今後も「新名神」等の建設事業や大規模更新・修繕などに多額の資金調達が必要になることが想定されます。これまでも事業説明会や個別訪問を通じて当社のことをご理解いただくよう努めてきましたが、今後はこれまで以上に投資家・金融機関の皆さまとのコミュニケーションを密にして、良好な関係を築き、当社のことをご理解いただくことで、安定的な資金調達につながっていきたくと考えております。

3 外部評価による透明性確保

事業評価監視委員会による外部評価を受け、事業の効率性・透明性を向上させています

当社では事業の効率性・透明性を図るために社外の有識者からなる事業評価監視委員会を設置しています。当社の高速道路事業について、第三者の立場からご意見をいただき、事業の評価を行い、今後の事業計画に役立てることにしており、内容はウェブサイトでも公開しています。

<http://corp.w-nexco.co.jp/corporate/disclosure/evaluation/>

事業評価監視委員会の開催状況

年度	審議内容	対象区間
2013年度	再評価※1	中国横断自動車道姫路鳥取線(播磨新宮～山崎JCT)計1事業11km
	事後評価※2	東九州自動車道(津久見～佐伯)計1事業13km
2012年度	再評価	舞鶴若狭道(福知山～舞鶴西) 四国横断道(鳴門～高松市境) 長崎道(長崎芒塚～長崎多良見)計3事業83km
	事後評価	新名神(亀山JCT～大津JCT) 阪和道(御坊～南紀田辺) 計2事業77km
2011年度	再評価	舞鶴若狭道(小浜西～小浜)、新名神(大津JCT～城陽、城陽～高槻第一JCT、高槻第一JCT～神戸JCT)、京都縦貫道(久御山～掛掛)、四国横断道(徳島東～徳島JCT、徳島～徳島JCT～鳴門JCT)、東九州道(北九州JCT～豊津、椎田南～宇佐、門川～西都) 計10事業232km
	事後評価	なし

※1 再評価: 採択後3年を経過して未着工の事業および5年を経過して継続中の事業、再評価実施後3年を経過した時点で継続中もしくは未着工の事業について実施し、事業の継続もしくは中止の方針を決定します。

※2 事後評価: 事業完了後5年以内に事業の効果などを確認し、事業の成果に対する説明責任を果たすとともに、必要に応じて適切な改善措置を講じ、同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しにも反映します。

4 不正通行対策

防止対策や啓発を強化することで不正通行件数は年々減少しています

有料道路事業は、道路をご利用されるすべてのお客さまから公平に通行料金をご負担いただくことで成り立っています。レーンを強行突破するなど不正に通行料金の支払いを免れる行為(不正通行)は、公平性の原則を揺るがす犯罪行為です。

当社では、こうした不正通行者を特定するためのカメラを設置するとともに専門チーム「不正通行調査隊」を組織して、走行のデータ分析や実態調査、警察への通報に必要な証拠収集などを行っています。2013年度は、逮捕4件、不正通行者32件を認定し、不法に免れた料金の3倍に相当する額を請求しました。

また、毎年「不正通行対策強化月間」を設けて、SA・PA、料金所などへのポスター・チラシの掲示や、高速道路上への看板・横断幕の設置、ラジオCM等を通じた告知、



「お知らせアンテナ」を設置し、ETCカード未挿入等による未精算通過を防止



不正通行を防止する開閉バーを一般レーンにも設置

警察との合同取り締まりなどを実施し、ETCの利用方法を含めた不正通行事前防止の啓発活動も行っています。こうした取り組みによって、不正通行件数は年々減少しています。

今後も「不正通行は断固許さない」という毅然とした態度で、悪質な不正通行の分析調査に注力するとともに、警察の捜査にも積極的に協力し、その撲滅を目指していきます。

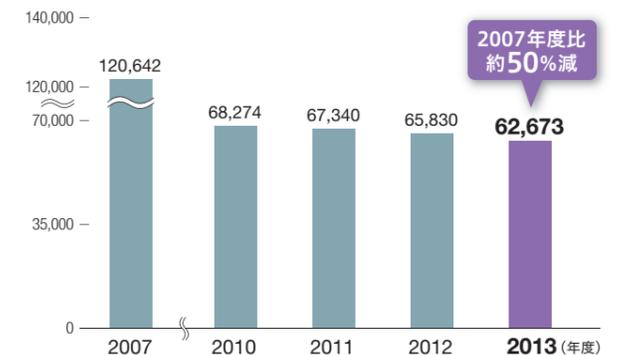


「不正通行対策強化月間」にはSA・PA、料金所などへのポスター・チラシの掲示や、高速道路上への看板・懸垂幕等の設置、ラジオCM等を通じた告知などの啓発活動を実施



料金所での立哨監視を強化。警察と連携した取り締まりも推進

不正通行件数※の推移 (単位: 件)



※不正通行発生件数: 後日課金申し出のあった車両を除き、通行料金を支払わず料金所を突破した車両の通行件数。ETC通信ができなかったことに気付かず、未課金のまま通過してしまった車両(ETC未課金車両)も含む。

不正通行の事例をウェブサイトで公開しています

http://corp.w-nexco.co.jp/activity/maint_bus/unfair/example/

基本的な考え方

公正、透明、健全な企業を目指すNEXCO西日本では、さまざまな機会に、また多様な情報発信手段により、企業情報、経営情報、経営に影響を及ぼすリスク情報などを公開し、グループ経営の透明性を高めています。

1 双方向のコミュニケーション

事業への理解を深めていただくため、社長による記者会見を毎月実施しています

NEXCO西日本グループの経営状況、建設・管理、新事業等への取り組みに対する理解を深めていただくため、社長による記者会見を毎月開催し、情報発信に努めています。



記者会見

高速道路の新設・改築の際は、地元・関係者の皆さまとの協議・事前説明を徹底しています

高速道路を新設・改築する際には、地元自治体や警察、公共施設の管理者などの各関係機関や、計画道路の沿道地域の皆さまと入念な協議を重ねたうえで事業を進めています。



事業説明会(地元・関係自治体説明会)



写真や完成予想の図なども活用するなど、わかりやすい説明を工夫した設計協議

また、説明会や設計協議^④の場でいただくご意見については、設計や計画に可能な限り反映させるよう努めています。

事業の全体概要はもちろん、環境対策や事業用地の取得など特に関心の高い事項については、必要に応じて現地での立ち会いや説明会を実施し、関係者の十分な納得が得られるまで説明を行っています。

2 ウェブサイトによる情報発信

より使いやすく、きめ細かな情報提供ができるウェブサイトを目指し改良を重ねています

当社では、ウェブサイトにおいて料金・経路検索サービス^⑤のほか、交通情報や渋滞予測情報、工事規制情報など、きめ細かな情報提供を心がけ、お客さまのニーズに応えるべく日々更新しています。また、会社情報として、事業内容や記者発表、IR^⑥情報、調達・お取引情報など、積極的に公開するよう努めています。

2013年度はトップ画面をリニューアルしました。お客さまからのご意見・ご要望やアンケート結果等を画面の配置に反映させた結果、1日あたり約51万件のアクセスをしていただきました。特にお客さまから要望の多かった、料金検索サービスのETC^⑦割引料金表示や、高速道路開通情報の見直しをしました。また、スマートフォン用のウェブサイトをリニューアルするなど改良を随時進めています。



リニューアルしたトップ画面
アクセス実績からカテゴリーの配置を見直し、SA・PA情報ページへの導入部分を大きく表示



スマートフォン用ウェブサイトのトップ画面

2014年度も引き続きお客さまからのご意見・ご要望やアンケート結果、ウェブサイト分析結果を踏まえて、さらなる料金検索機能の充実など、お客さまのニーズが高い情報を中心にウェブサイトの改良に努めます。



Facebook^⑧
高速道路開通や工事進捗の情報、SA・PA情報を週3回投稿。「いいね!」数は4,100件(2014年3月末現在)

TOPICS

動画を制作・公開しています

当社では2013年度、大規模更新や大規模修繕に取り組んでいくことの必要性についてご理解頂くため、高速道路の損傷の原因や補修状況、そして点検技術の進展について動画を掲載しました。お客さまから月約16,000件のアクセス(2014年3月実績)をいただいています。



高速道路更新計画の動画

3 多様なメディアの活用

集中工事の実施に先立ち
多様なメディアで広報をしています

当社では、営業中路線の集中工事を実施する際には、テレビ・ラジオCMをはじめ、高速道路本線の電光掲示板やSA・PAのハイウェイ情報ターミナル、リーフレット、ポスター、ウェブサイト、お客さまセンターなど、あらゆるコミュニケーション手段を活用し、高速道路をご利用いただくお客さまだけでなく、沿線地域の皆さまや、自治体、交通管理者などの関係機関に対して、広報と事前説明を徹底しています。

ウェブサイトやリーフレットについては、お客さまが工事情報を詳細に知ることができる広報手段であるため、よりわかりやすく見やすいように心がけるとともに、集中工事の必要性や実施することでの利点なども含めてご理解いただけるよう内容の充実を図っています。



近畿道集中工事をお知らせする、テレビCM

さまざまなメディアでの広報活動に
チャレンジしていきます

当社管内のSA・PAに設置しているポスターやリーフレットなどの広告媒体の販売を専門に行う広告事業会社として、NEXCO西日本コミュニケーションズ(株)を設立しています。

広告事業の成長を通じ、「人」と「企業」と「地域社会」をつなぎ、高速道路の価値を高めていくとともに、広く社会に貢献していきます。

社員コメント

NEXCO西日本

できるだけわかりやすく
迅速・正確な情報発信に努めています



広報CS推進部 広報課 課長代理 田中 克彦

広報課では、記者発表や記者会見、ウェブサイトなどを通じて、できるだけわかりやすく情報を発信し、NEXCO西日本への理解を深めてもらえるように努めています。あつてはなりません、仮に不祥事などがあつた場合は、会社にとってマイナスな情報であっても速やかに正確に発信することが社会的な信用につながると思っています。社会ニーズの高い情報の発信はもちろんです、見えないところでの高速道路の「安全・安心」を守っている社員の姿を知っていただくなど、NEXCO西日本がさらにステークホルダー^⑨の皆さまに愛される会社になるような仕掛けづくりに取り組んでいきたいですね。